

先生各位

新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご愛顧を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。
この度、下記検査項目につきまして、検査の受託を開始いたしますので、ご案内申し上げます。
謹白

記

● 受託開始日 2016年12月5日（月）受付分より

● 新規受託項目

検査項目	検体量	保存	所要日数	容器	実施料	検査方法	基準値
M2BPGi (Mac-2 結合蛋白 糖鎖修飾異性体) (項目コード : 3253)	血清 0.5mL	冷蔵	3~6	1	200点 (生化I)	CLEIA	判定 : (一) カットオフインデックス : 1.00未満 判定基準は下記参照

<判定基準>

判定	カットオフインデックス
(一)	1.00未満
(1+)	1.00~3.00未満
(2+)	3.00以上

M2BPGi (Mac-2 結合蛋白(M2BP)糖鎖修飾異性体)

肝臓の線維化進展の診断補助に有用です。

ウイルス性肝炎は、日本では約300万人が感染する国内最大の感染症であり、感染した状態を放置すると、肝細胞癌へ進行する可能性があるなど重篤な病態を招く疾患です。肝臓の病態把握には、線維化の程度を評価することが臨床上有用であるとされており、その検査として肝臓組織の一部を針で採取して行う肝生検が主流となっています。しかしながら、肝生検は身体的な負担も大きいため、より簡便に肝線維化の進行度を診断できる方法が望まれていました。

M2BPは分泌性糖蛋白質であり、その糖鎖構造が肝臓の線維化進展により顕著に変化することが報告されています。本検査は、変化した糖鎖構造に特異的なレクチンを用いることにより、血清中のM2BPGiを検出いたします。肝線維化の進展に伴い優位に高値となり、肝生検との一致率も高いと言われると同時に、既存の肝線維化マーカーとの比較でもM2BPGiは高い診断能を有すると報告されています。